

3月5日発行
臨時号

仲町だより

なか よく
ま なぼう
ち からいっぱい

練馬区立仲町小学校

校長 米田 典子

保護者・地域・教職員 保護者（児童数）の回答率は50% 教員の回答率は、100% 学校評議員の回答率 100%
 A よくあてはまる B あてはまる C あまりあてはまらない D ほとんどあてはまらない E 判断できない 分からない等
 児童 A よくあてはまる B あてはまる C あまりあてはまらない D わからない
 ◇は学校の自己評価 ☆は学校の来年度の取組を表しています。

	【学校の教育目標】		A	B	C	D	AとBの割合	E
1	○学校の教育目標や目指す学校像は、子供や地域の実態に合った適切な内容となっている	保護者 (395名)	15.7%	72.2%	3.8%	0.3%	87.9%	8.1%
		学校評議員 (7名)	42.9%	42.9%	0.0%	0.0%	85.8%	14.3%
		教員 (32名)	30.0%	66.7%	3.3%	0.0%	96.7%	0.0%
	◇学校の教育目標は、児童や地域の実態に合っている。肯定的な評価が地域、保護者、教職員ともに高い。 ☆これからも教育活動を通じて、かしこい子、心ゆたかな子、たくましい子の育成に努めます。							
2	【学校生活の様子について】		A	B	C	D	AとBの割合	E
	○子供たちの学校での様子は楽しそうである	保護者	31.6%	61.5%	4.1%	0.3%	93.1%	2.5%
		学校評議員	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
		教員	43.3%	56.7%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	○学校は楽しいですか	低学年児童 (398名)	59.0%	33.1%	6.2%	1.7%	92.1%	
		高学年児童 (392名)	40.4%	47.0%	9.7%	2.9%	87.4%	
◇全体として楽しく過ごしているようである。肯定的な割合が高いが、高学年児童の割合が昨年より6%ほど低くなった。 ☆児童一人一人との会話を増やし、教職員が一体となり組織として学校生活をよりよいものにしていきます。								
3	【学校生活の様子について】		A	B	C	D	AとBの割合	E
	○子供たちは仲良く、学校生活を送っている	保護者	25.8%	66.1%	4.3%	0.3%	91.9%	3.5%
		学校評議員	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
		教員	16.7%	80.0%	3.3%	0.0%	96.7%	0.0%
	○あなたは、友達と仲よくしていますか	低学年児童	70.6%	26.7%	2.5%	0.2%	97.3%	
		高学年児童	72.4%	27.0%	0.3%	0.3%	99.4%	
◇保護者、児童、地域、教職員とも肯定的な割合が高く、児童は両方ともに2%増えた。自他のよさを認め互いに尊重する態度を育てていく。 ☆学校生活を充実させるため、学級では教師と児童の信頼関係を確立していきます。全校児童を全教職員で見守っていきます。								
4	【教職員の対応について】		A	B	C	D	AとBの割合	E
	○教職員は、誠実に子供や保護者に接している	保護者	32.2%	58.7%	5.6%	0.5%	90.9%	3.0%
		学校評議員	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
		教員	40.0%	53.3%	3.3%	0.0%	93.3%	3.3%
	○先生たちは、あなたのことを考えたり、話を聞いたりして接してくれますか	低学年児童	58.5%	31.6%	6.9%	3.0%	90.1%	
		高学年児童	55.9%	38.8%	3.4%	1.8%	94.7%	
◇全体的に肯定的な評価の割合が高いが、児童の割合が昨年より3～4%下がった。 ☆子供の思いをより適切に受け止めるため、学年同士、他学年との意見交換を増やし、教職員間の連携を密にし、情報共有を行います。								

5	【学校生活の様子について】		A	B	C	D	AとBの割合	E
	○子供たちは、すすんであいさつをしたり、正しい言葉づかいをしたりしている	保護者	7.6%	52.2%	32.9%	1.8%	59.8%	5.6%
		学校評議員	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	85.7%	0.0%
		教員	3.3%	40.0%	46.7%	10.0%	43.3%	0.0%
	○あなたは、進んであいさつをしたり、正しい言葉遣いをしたりしていますか	低学年児童	44.7%	43.0%	11.4%	1.0%	87.7%	
高学年児童	35.2%	50.7%	13.1%	1.0%	85.9%			
◇児童は昨年同様高く評価しているのに比べ、保護者や教職員からは肯定的な評価の割合が低い。意識の違いがある。 ☆校内では、教職員が率先して挨拶するようにし、学級や校内での生活指導を計画的に行っていきます。地域の学校とも連携します。								
6	【学校と保護者・地域の連携について】		A	B	C	D	AとBの割合	E
	○保護者は全体的に学校に協力的である	保護者	11.1%	73.4%	7.1%	0.3%	84.5%	8.1%
		学校評議員	28.6%	28.6%	28.6%	0.0%	57.2%	14.3%
		教員	10.0%	63.3%	23.3%	0.0%	73.3%	3.3%
	◇保護者や地域の方から教育活動に理解・支援をいただいているので、今後もPTAの活動等を更に発信していただく。 ☆今後とも家庭・地域との連携・協力を重視し、地域に開かれた取組を推進します。							
7	【学校の教育環境について】		A	B	C	D	AとBの割合	E
	○校舎内や校庭、学校付近の整備や清掃が十分に行われ、環境整備をしている	保護者	22.5%	62.8%	9.1%	2.0%	85.3%	3.5%
		学校評議員	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
		教員	33.3%	53.3%	13.3%	0.0%	86.6%	0.0%
	◇教職員の肯定的な評価の割合が昨年より高くなった。学校評議員からも評価されている。 ☆校舎、校庭、校内施設・設備の安全点検を継続し、清掃活動の充実を図る。今後も安全で安心して学習できる環境の整備に努めます。							
8	【学習について】		A	B	C	D	AとBの割合	E
	○学校は、子供の学力の定着・向上のために工夫した授業を行っている	保護者	16.2%	62.8%	4.8%	0.3%	79.0%	15.9%
		学校評議員	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
		教員	20.0%	66.7%	10.0%	0.0%	86.7%	3.3%
	○学校の勉強は、よく分かりますか	低学年児童	61.5%	32.1%	5.4%	1.0%	93.6%	
高学年児童	52.2%	40.4%	5.8%	1.6%	92.6%			
◇教職員や児童共に肯定的な評価の割合が高い。保護者からの評価を上げるために、校内での研修やOJTをしっかりと行っていく。 ☆基礎基本の定着、学力の向上を図るため、また児童にとってよく分かる授業となるように指導方法を工夫改善していきます。								
9	【学習指導について】		A	B	C	D	AとBの割合	E
	○学校は、授業や家庭での学習においてICTを工夫して活用している（ICTとは児童用タブレットや教室の大型提示装置やパソコンなどのこと）	保護者	18.0%	61.8%	7.3%	2.3%	79.8%	10.6%
		学校評議員	28.6%	57.1%	0.0%	0.0%	85.7%	14.3%
		教員	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	○タブレットや大型画面を使うことで授業がより分かりやすくなっていますか	低学年児童	60.7%	30.6%	6.4%	2.2%	91.3%	
高学年児童	50.9%	36.7%	10.0%	2.4%	87.6%			
◇教職員や児童共に肯定的な評価の割合が高い。タブレットを活用した授業も多く成果が出ている。保護者からの評価も上がった。 ☆今後もICTを効果的に活用し、よく分かる授業となるように指導方法を工夫改善し、指導の充実を図ります。								
10	【生活指導】		A	B	C	D	AとBの割合	E
	○授業は、話の聞き方や発表の仕方等の学習のルールが守られており、落ち着いた雰囲気の中で学習が進められている	保護者	14.4%	56.7%	9.6%	1.0%	71.1%	18.2%
		学校評議員	42.9%	42.9%	0.0%	0.0%	85.8%	14.3%
		教員	13.3%	63.3%	20.0%	0.0%	76.6%	3.3%
	○あなたは、学校で決まりを守って、落ち着いて勉強や生活をしていますか。	低学年児童	49.4%	39.3%	9.1%	2.2%	88.7%	
高学年児童	40.7%	47.8%	10.5%	1.0%	88.5%			
◇学校評議員・保護者について、肯定的な評価の割合が去年を下回った。学習への主体性や規範意識を高める手立てが必要である。 ☆自律・自立した子供の育成を目指し、集団生活を通し社会性を育みます。また友達の話をよく聞くなど思いやりの心を育てていきます。								

【少人数指導】		A	B	C	D	AとBの割合	E
○2年生以上の算数少人数指導は学習の定着に効果をあげている。1年生の算数は担任と講師によるチームティーチングにより学習の定着に効果をあげている	保護者	18.5%	50.4%	4.6%	0.3%	68.9%	26.3%
	学校評議員	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	教員	36.7%	46.7%	6.7%	0.0%	83.4%	10.0%
○算数の少人数の授業は、よく分かりますか。	低学年児童	65.9%	24.4%	5.9%	3.7%	90.3%	
	高学年児童	57.7%	34.4%	6.6%	1.3%	92.1%	
◇教職員は、少人数授業が学習の定着に効果をあげていることを実感している。保護者・地域の方に取組の効果を発信していきます。							
☆学習内容によって、習熟の程度に応じた指導方法をさらに工夫改善していきます。							

12	【外国語教育】		A	B	C	D	AとBの割合	E
	○英語専科教員やALTを活用した3・4年生の外国語活動や5・6年生の外国語科の授業では学習の効果をあげている	保護者	8.6%	31.9%	7.6%	1.0%	40.5%	50.9%
		学校評議員	28.6%	57.1%	0.0%	0.0%	85.7%	14.3%
		教員	26.7%	50.0%	3.3%	0.0%	76.7%	20.0%
	○外国語の授業はよく分かりますか	3学年児童	59.3%	37.3%	2.5%	0.8%	96.6%	
		高学年児童	39.1%	39.4%	17.8%	3.7%	78.5%	
◇保護者には、外国語の授業公開が少なく分かりづかった。 ☆外国語専科教員とALTによる授業の改善に努める。今後も学校公開で外国語教育を行い、児童の様子を家庭や地域に広めます。								

13	【朝学習】		A	B	C	D	AとBの割合	E
	○仲町っ子タイム(朝学習)や朝読書は効果をあげている	保護者	10.4%	36.5%	11.9%	1.0%	46.9%	40.3%
		学校評議員	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%	71.4%
		教員	10.0%	66.7%	6.7%	0.0%	76.7%	16.7%
◇保護者にとっては判断が難しいという意見が多かった。基礎学習を計画的に行い、学年だよりなどで周知する必要がある。 ☆基礎学習の指導の在り方を工夫し、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図るため、学期始めの計画を周知します。								

14	【道徳教育】		A	B	C	D	AとBの割合	E
	○学校では、道徳の時間を含めた全教育活動を通して、命を大切にすることや思いやりの心をもつ指導に努めている	保護者	14.7%	61.3%	3.0%	0.8%	76.0%	20.3%
		学校評議員	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%	85.8%	0.0%
		教員	30.0%	70.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	○あなたは、命や人の気持ちを大切にしていますか	低学年児童	72.6%	25.4%	1.5%	0.5%	98.0%	
		高学年児童	71.4%	27.3%	1.3%	0.0%	98.7%	
◇保護者、児童共に命を大切にすることや思いやりの心について肯定的な評価の割合が高い。 ☆道徳の指導方法の工夫・改善を行うとともに、人権についても丁寧に指導していきます。家庭や地域との連携を深めていきます。								

15	【特別活動】		A	B	C	D	AとBの割合	E
	○体育発表会や音楽会など友達と協力したり、一人一人の個性が発揮されたりするような場が設定されている	保護者	30.6%	57.0%	9.6%	1.8%	87.6%	1.0%
		学校評議員	71.4%	14.3%	0.0%	14.3%	85.7%	0.0%
		教員	33.3%	63.3%	3.3%	0.0%	96.6%	0.0%
	○体育発表会や音楽会などの行事や、クラブ活動、児童会活動は楽しいですか	低学年児童	76.0%	16.8%	5.2%	2.0%	92.8%	
		高学年児童	63.8%	29.7%	5.0%	1.6%	93.5%	
◇体育発表会や音楽会などの行事については多くの保護者が肯定的な評価をしている。 ☆来年度以降も新しい令和型の教育活動を見据えながら、よりよい行事にしていいため、工夫を行っていきます。								

	【学校と保護者・地域の連携】		A	B	C	D	AとBの割合	E
16	○学校は、家庭や地域との連携に積極的に取り組んでいる	保護者	15.4%	62.0%	8.9%	4.1%	77.4%	9.6%
		学校評議員	14.3%	57.1%	28.6%	0.0%	71.4%	0.0%
		教員	23.3%	66.7%	10.0%	0.0%	90.0%	0.0%
	◇教職員は肯定的な評価の割合が高いが、学校評議員の評価が下がった。総合の授業の取組などで、地域と連携している。 ☆生活科や総合的な学習で地域の方と連携を進めているが、学年だよりやホームページを通して活動内容を共有していきます。							
	【学校と保護者・地域の連携】		A	B	C	D	AとBの割合	E
17	○学校は、保護者会や個人面談、学校だより、ホームページなどを通して子供たちの様子を分かりやすく伝えている	保護者	18.2%	67.6%	8.9%	3.5%	85.8%	1.8%
		学校評議員	42.9%	28.6%	14.3%	0.0%	71.5%	14.3%
		教員	10.0%	83.3%	6.7%	0.0%	93.3%	0.0%
	◇学校ホームページの更新を行ったり、sigfyを活用したりした。また保護者面談で児童の様子を伝えた。 ☆学校便りやホームページ等を通して情報を発信し、今後も学校、家庭の教育力を最大限に発揮できるように教育活動を進めます。							
	【体育・健康教育】		A	B	C	D	AとBの割合	E
18	○学校は、子供の体力向上や健康の増進に積極的に取り組んでいる	保護者	14.4%	61.8%	9.4%	1.5%	76.2%	12.9%
		学校評議員	14.3%	57.1%	14.3%	14.3%	71.4%	0.0%
		教員	23.3%	66.7%	10.0%	0.0%	90.0%	0.0%
	○学校では、たくさん運動したり、健康に気を付けたりして生活していますか	低学年児童	61.0%	34.1%	4.4%	0.5%	95.1%	
		高学年児童	52.2%	37.0%	9.4%	1.3%	89.2%	
◇教員、児童ともにコーディネーショントレーニングや休み時間のパワーアップタイムを使い、児童の意欲の高まりを実感している。 ☆家庭でもできるように具体的な取り組みを知らせ、連携を図っていきます。								
	【体育・健康教育】		A	B	C	D	AとBの割合	E
19	○学校は、食に関する理解を深めるための取組を行い、児童が給食を残さず、バランスよく食べることができている	保護者	25.8%	57.7%	4.8%	0.0%	83.5%	11.6%
		学校評議員	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%	42.9%	57.1%
		教員	13.3%	60.0%	23.3%	0.0%	73.3%	3.3%
	○あなたは、給食をのこさず、バランスよく食べていますか	低学年児童	42.5%	33.6%	19.0%	4.9%	76.1%	
		高学年児童	56.7%	29.1%	10.0%	4.2%	85.8%	
◇今年度も栄養教諭の積極的な授業参加を行った。その中で食育に関する取組を多く行い、児童の意識が高まった。 ☆今後も給食を中心に食育を充実させ、食育だよりなどで取組を家庭へ周知し、連携を図ります。								
	【小中一貫教育】		A	B	C	D	AとBの割合	E
20	○小・中学校間の円滑な接続を図るために小中一貫教育を推進し、有効な取り組みが行われている（例：部活動説明会、作品展見学など）	保護者	7.3%	26.8%	6.1%	1.3%	34.1%	58.5%
		学校評議員	14.3%	42.9%	0.0%	0.0%	57.2%	42.9%
		教員	13.3%	83.3%	3.3%	0.0%	96.6%	0.0%
	◇小中一貫教育について判断ができないとする保護者の割合が多い。 ☆小・中学校の連続した指導内容・指導方法の研究に努め、3校の教員同士、共通理解を図り、情報を発信していきます。							